石桜同窓会報

石桜同窓会
盛岡市長田町
岩手高等学校内
印刷山口北州印刷㈱

平成13年度石桜同窓会
総会終わる

平成13年度の石桜同窓会総会は、10月19日（金）午後6時から盛岡市駅前のメトロポリタン盛岡本館で開催された。

総会にはおよそ60名が出席、会務報告、決算、予算案が審議され、役員改選案も上程されて、原案通り可決した。

平成13年度石桜同窓会

菊地校長の挨拶

総会は事務局の武田真和氏（新21回）の司会で開会。下河原善嗣郎（新5回）会長が登壇して挨拶した。

昨年11月には母校創立70周年記念事業の締めくくりとして、皆さんのご賛同に基いて母校生徒のクラブ活動に役立てようとバス2台を購入、母校へ寄贈した。

また11月には母校に永年勤続された足沢至先生（旧17回）の勲五等瑞宝章受章の御祝があったこと、そして今年の春には新3回生の小林綾二さんが石巻の専修大学の学長になったこと。インターハイでは、3年のテニス部の橋伸君が旗手を務めたこと、去年の総会で決まった母校の校歌、応援歌のCD作成が完成したことなどが報告された。

来賓挨拶では岩手奨学会理事の遠藤貫中元校長が（旧1回）登壇。私学の経営は困難な時代に入っているが、会長を中心に一層の同窓会の団結を図りながら、母校への協力支援を願えれば幸いであると結んだ。

議事の審議に入り、平成12年度会務報告、一般会計決算報告及び特別会計、クラブ強化育成基金報告、監査報告、13年度事業計画、一般会計予算案、特別会計予算案等が審議され可決された。

ついで役員改選の案件に移り事務局武田真和氏が説明、さらに下河原会長からも「体調回復が十分でないので今回の改選に当り、辞意を表明したい」との言葉があった。

10月に開催された常任理事会及び理事会での経緯の報告があり、新役員候補者案が上程され、全員これを諒承した。

新会長　村上照五郎（新2回）
新副会長　竹花　國夫（新8回）
新監事　小苅米淳一（新13回）
顧　問　下河原善嗣郎
指　博（新9回）村井紀之（新18回）計3名、監事は照井安彦（旧9回）と玉山哲史（新11回）の計3名となる。

これにより副会長は小枝指博（新9回）村井紀之（新18回）計3名、監事は照井安彦（旧9回）と玉山哲史（新11回）の計3名となる。

議事は以上で終了し、「その他」として次の3点が出された。

〈理事会での懸案事項〉

①会費値上げの件
収入が新卒者の終身会費・入会金だけでは名簿作成の積み立てができない。生徒数減の傾向。会費・入会金の値上げは学校との連携が必要。
次回の名簿代を、現在の四千円→五千円にする。

②総会幹事を回生担当にしてみてはどうか。（東京石桜会が実施）
（西暦の下一桁で懇親会の企画運営等担当、会場・受付等は同窓教員が担当）

③同窓会として、校歌・応援歌CDを二千円で販売する。
また事務局からのお知らせとして、次のことが伝えられた。

☆怪しいハガキに注意
九月中旬に往復ハガキで岩手高校同窓会名簿を作成する案内があったが、石桜同窓会とは全く関係がない。同窓の方々から学校へ問い合わせがあり、次回は三年後の発行予定。

☆校歌・応援歌CD
いよいよ完成
応援団の企画により、校歌・応援歌のCDが完成。在校生・新入生に販売するが、同窓生にも販売するので学校同窓会事務局まで連絡されたい。

お知らせの後、村上照五郎新会長の挨拶、菊地治雄校長の現況報告を含めた挨拶があった。

菊地校長は今年の新卒進路状況、生徒減の現況について話され、小枝指、竹花副会長のことばがあって閉会。懇親会は部屋を変え、70余名の参加者で交歓した。

新同窓会長を囲む同期生

同窓会長に就任して

石桜同窓会会長　村上照五郎

去る10月19日、平成13年度石桜同窓会総会において、はからずも第6代の岩手中・高等学校石桜同窓会会長に選ばれました新二回生の村上です。下河原前会長が健康上の理由で、今ひとつ自信を持てないということで、今回この大任をお引き受けすることになりました。紙面をお借りして、前会長の一日も早い健康のご回復をご祈念申し上げます。

さて、私は平成11年度の総会で副会長に選出されたとき、石桜同窓会報第24号に「新副会長となって」というコメントを掲載していただきましたが、その中で述べた石桜同窓生への考え方は今も変わりません。在校生であれ、卒業生であれ、スポーツ面、文化面、その他いろいろな面で好成績をあげたり、表彰を受けたなどと、新聞、テレビ、あるいは人づてに聞こえてきますと「頑張っているなー」と、その日一日が楽しくなります。

同窓会としても、母校がますます各分野で活躍できるよう、まずもって同窓生がしっかり結束し、在職の教職員、在校生と一体となり、母校の発展のために何か役に立つことがないかを考え、実行することが大切ではないかと思います。

今、世の中は、私が岩中・岩高に生徒として、また教員としてお世話をいただいた時代とは大分様変わりし、24時間営業のお店が出来たり、携帯電話・パソコン・車等、本当に便利になりました。しかし、そんな時代だからこそ、自分というものをしっかり持っていなくては、ずるずると流されていくような心配があります。

また、少子化が進み、高校の統廃合や、大学までもがその影響を受けるという、こういうときこそ我が岩手中・高校は私学の特色を生かし、魅力ある学校として、さらなる発展を遂げるよう、いろいろ協力していきたいと考えますので、同窓生の皆様、よろしくお願い致します。各分野でご活躍されている皆々様の叡智を集めれば、必ずや、よりよい道が開けると信じております。

終わりに、岩手中・高等学校石桜同窓会の発展をお祈りしまして、私のご挨拶とさせていただきます。

平成12年度　クラブ強化育成基金　決算書

収入の部

項目	決算額(円)	備考
繰越金	15,655,993	
利息	17,993	
返戻金	1,000,000	特別会計から返戻（半額分）
合計	16,673,986	

支出の部

教育後援会補助	800,000	教育後援会補助
マイクロバス	9,915,270	70周年記念事業
合計	10,715,270	

繰越金　5,958,716円

平成12年度　会務報告

(1)　平成12年10月20日（金）　総会（ホテルメトロポリタン盛岡）
(2)　平成12年11月16日（木）　同窓会バス引き渡し（校長室）
(3)　平成12年12月29日（金）　会報25号発行
(4)　平成13年4月18日（水）　常任理事会（きのえね支店）
　　校歌・応援歌CD化について
(5)　平成13年9月26日（水）　会計監査・三役会（きのえね支店）
(6)　平成13年10月3日（水）　常任理事会（きのえね支店）
　　役員改選について
(7)　平成13年10月5日（金）　理事会（きのえね支店）
　　総会議案審議
(8)　平成13年10月19日（金）　総会（ホテルメトロポリタン盛岡）

平成13年度　事業計画

1．指針
母校の繁栄に大いに寄与できる基盤を整える。

2．事業計画
(1) 母校クラブ活動を積極的に支援する。
（クラブ強化育成基金の適切な活用）
(2) 会員相互の親睦交流を図る。
（支部、地区会、クラス会等の節目を重視した集会を盛んにする）
(3) 本部と支部・地区会等の連携を図る。
（相互に情報を提供する）

平成13年度予算

I　一般会計

収入の部

科目	本年度予算額	平成12年度予算額
会費	1,315,000	1,340,000
入会金	789,000	804,000
総会会券代	500,000	500,000
利子	1,000	1,000
雑収入	200,000	200,000
繰越金	190,705	38,504
合計	2,995,705	2,883,504

支出の部

科目	本年度予算額	平成12年度予算額
会議費	700,000	700,000
石桜会補助金	250,000	250,000
印刷費	400,000	400,000
慶弔費	70,000	70,000
通信費	600,000	600,000
事務費	30,000	30,000
事務手当	60,000	60,000
雑費	600,000	600,000
特別会計編入	100,000	100,000
予備費	185,705	73,504
合計	2,995,705	2,883,504

II　特別会計

収入の部

科目	本年度予算額	平成12年度予算額
一般会計より編入	100,000	100,000
利子	1,000	5,000
返戻金	0	0
繰越金	738,397	451,243
合計	839,397	556,243

支出の部

科目	本年度予算額	平成12年度予算額
返戻金	100,000	100,000
合計	100,000	100,000

平成12年度決算報告書

I　一般会計

収入の部

科目	決算額	平成12年度予算額
会費	1,340,000	1,340,000
入会金	804,000	804,000
総会会券	310,000	500,000
利子	295	1,000
雑収入	296,000	200,000
繰越金	38,504	38,504
借入金	600,000	0
合計	3,388,799	2,883,504

支出の部

科目	決算額	平成12年度予算額
会議費	733,908	700,000
石桜会補助金	250,000	250,000
印刷費	500,199	400,000
慶弔費	37,177	70,000
通信費	595,528	600,000
事務費	9,677	30,000
事務手当	60,000	60,000
雑費	411,605	600,000
特別会計編入	0	100,000
返戻金	600,000	0
予備費	0	73,504
合計	3,198,094	2,883,504

II　特別会計

収入の部

科目	決算額	平成12年度予算額
一般会計より編入	0	100,000
利子	635	5,000
返戻金	600,000	0
繰越金	451,243	451,243
石桜振興会から	1,282,519	0
クラブ強化育成基金	0	0
寄付金	4,000	0
合計	2,338,397	556,243

支出の部

科目	決算額	平成12年度予算額
一般会計へ	600,000	0
名簿印刷	0	0
返戻金	1,000,000	100,000
合計	1,600,000	100,000

母校ホームページ開設中！

インターネットによる岩手高校のホームページが開設されております。今後も様々な情報を紹介してまいりますのでご期待ください。

アドレス　http://www.iwate-jh.ed.jp/

校歌・応援歌のCD完成

1枚二千円（税込）

本年10月に待望のCDが完成いたしました。10月5日の理事会で発表され、出席者のほとんどの方に購入して頂きました。会場では受け付け開始とともに校歌・応援歌が流され、プロの歌声とともに皆さん懐かしそうに聞いておられました。続く19日の総会でも会場で校歌・応援歌が流され、販売に大きく貢献していました。

CDジャケットも桜の季節の校舎・石割桜と大変よくできております。支部総会やクラブOB会・クラス会開催の際には用意いたしますので、必要枚数を事務局までご連絡下さい。（残部はお返し頂いて結構です）

副会長就任にあたって

竹花　國夫（新８回）

一言ご挨拶申し述べたいと存じます。

この度、副会長就任に推挙されましたが、私には身にあまる大任と、固くご辞退申し上げたのですが、母校のＯＢからの力強いご推薦もあり、お引受けすることになりました。微力ではございますが、精一杯努めさせていただきますので、宜しくお願い申し上げます。

ご承知のように、我が母校は創立70有余年を誇る岩手県下でも有数の輝かしい歴史と伝統のある私学校です。

創立以来、私学による人材育成を目指した「三田義正翁」の教育方針のもと念願を果たした幾多の卒業生を世に送り出して、地域社会は勿論のこと、国内外で貢献しております。

こうした視点から21世紀を背負って立つ、伝統ある「岩手中・高等学校」の役割は大きいといえるのではないでしょうか。

皆さんはいま青春のまっただなかにいます。生命力に満ちあふれ、何事にも恐れず目標に向かっていけるエネルギーに満ちております。目標に向かって心を熱くたぎらせているかぎり、その人はいつまでも青春を謳歌しているわけです。逆に、前進を恐れ、消極的な道を選ぶとするならば、その人が10代であろうとも青春とはいえないと思います。

失敗を恐れず、それぞれの目標に向かって力強く羽ばたいてください。

終りに、伝統ある母校のさらなる発展と、そこで学ぶ生徒達のために、是非とも皆様方のお力添えをお願い申し上げる次第です。

母校にもご恩返しを

監事　小苅米淳一（新13回）

昭和36年卒の小苅米です。高校では池口先生、日野岳先生に主にお世話になりました。その後、明治大学商学部に進み、スーパーマーケットの道をひたすら学びまっすぐ進んで今に至っています。社名は今は「ジョイス」といいますが前は「いちのへ」という名前で、スーパーマーケットを始めたのは昭和33年で私が高校３年の時、初めてスーパーを開店した時の印象は非常に強烈で満員の混雑した店内を漸く玉子を運んだのを良く憶えています。迷わずスーパーマーケットに進むことを決め、大学卒業後はゼミの三上富三郎先生のすすめでダイエーに入社して数年後、盛岡に帰って来ました。平成６年に北三県の流通業界では初の株式公開を果し、今は岩手に31店舗、秋田に３店舗で売上５００億円、社員も２３００人の規模となりました。

高校時代の私はどちらかと言うと大人しい、人前に出るのが嫌いな、人づきあいの下手なネクラの方ではなかったかと思ってますが、自分としても、周囲の方々に助けられて、少しずつ成長し、能力が開かれてゆくのを有り難く思っています。

47歳の社長就任の時から運動不足解消のためゴルフを学び、私の先生は、同期の兼平重一郎で、春から秋にかけて月一回程度やって来ました。たまには横沢大造君とか谷地磨伎夫君、三浦敏彦君とやることもあります。11月８日、お茶の伊藤園主催のアマプロのゴルフコンペ全国50チームの対抗試合で北三県のスーパー経営者の代表に選ばれ、ヨークベニマルの大高社長、昨年の伊藤園レディースのチャンピオンの倶玉姫（グ・オッキ）さん達と組み、私も不思議と追われ余裕なく過ごしていますが、多少高校時代の恩返しをしたいと考えています。同窓会、最近の事情は良く解りませんので宜しくご指導の程お願いします。

パーディー３つも出し、優勝して来ました。４人トータルでアンダー20は大会記録であるそうです。これも同期生の兼平君の良きご指導と有難く思っています。

私は仕事がら、店を巡回しますが盛岡市の本町店では村上照五郎先生とか奥さんと暫々店内でお会いします。同級生の事情を時々聞いたりしています。先日、本社に先生から電話があり監事の依頼をお受けすることにしました。私もいつも仕事

同窓生の皆様のご支援を

岩手中・高等学校
校長　菊地　治雄

今年10月に行われました同窓会総会の役員改選におきまして、下河原善嗣部会長がご勇退され、新たに村上照五郎先生が新会長に就任されました。下河原会長大変ご苦労さまでございました。そして、村上先生会長ご就任おめでとうございます。

振り返ってみますと、下河原会長時代に学校へマイクロバスのご寄贈をいただきました。大変ありがとうございました。有効に活用させていただいております。

村上新会長は永年にわたり母校の教員にお勤めになられておりました。学校の事情にもよく通じておられますので、学校といたしましても大変心強く思っておるところです。今後とも今まで以上に学校へのご支援、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

さて、在校生たちも勉学やクラブ活動とそれぞれの目標に向かって活動しているところですが、昨今の少子化により受験生、入学生の確保が大変難しい状況となっております。学校といたしましても、中学生対象の体験学習の実施、秋田県をも含めた中学校訪問、入学試験の地方実施（今年度は二戸市で実施）といろいろ対策を講じておるところですが、やはり同窓生の方々のご支援が無ければその実績を上げることはなかなか難しいと思われます。ご子息、あるいはご近所に受験生がおられましたら本校を受験、入学するよう勧めてくだされば大変幸せに存じます。

最後になりますが、新会長の下同窓会がますます発展、充実されますことをご祈念申し上げます。

今年度も母校の各クラブはそれぞれ次のような活躍だった。なかでも山岳部の吉田周作・近藤裕祐は東北総体強化選手に選出。テニス部は高校総体で団体優勝は男子ダブルスで赤坂和男・谷地隼人組だった。映画部もＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト岩手県大会及び高校総合文化祭放送部門で準優勝や、全国大会で奨励賞を受賞した。（太字は奨励対象）

平成13年度クラブ活動成績

陸上部
第53回岩手県高等学校総合体育大会盛岡地区予選大会 ４×100、４×400　走り高跳び川村　砲丸野里　円盤野里・阿部
ハンマー投げ野里　やり投げ川村・阿部　予選通過
平成13年度春期陸上大会出場
第53回岩手県高等学校総合体育大会出場　団体ベスト８
第53回岩手県民体育大会盛岡地区予選大会参加
平成13年度陸上競技岩手県選手権大会出場

ソフトテニス部
第53回岩手県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技盛岡地区予選大会
団体予選通過　個人の部準優勝奥・今野組　第３位千葉・佐々木組
その他雫ノ浦・中村組、高橋・成田組、高橋・小幡組が予選通過
第53回岩手県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技大会　団体ベスト８
第53回岩手県民体育大会ソフトテニス競技盛岡地区予選大会
第３位松本・佐々木組　高橋・今野組　ベスト８雫の浦・大西組　高橋・中村組　敗者復活佐藤・下田組
第53回岩手県民体育大会ソフトテニス競技出場
第31回岩手県高等学校新人大会ソフトテニス競技盛岡地区予選大会出場

バスケットボール部
第53回岩手県高等学校総合体育大会バスケット競技盛岡地区予選大会参加
第53回岩手県民体育大会バスケット競技盛岡地区予選大会参加

バレーボール部
第53回岩手県高等学校総合体育大会バレーボール競技盛岡地区予選大会　予選通過
第53回岩手県高等学校総合体育大会バレーボール競技ベスト16
第53回岩手県民体育大会バレーボール競技盛岡地区予選大会予選通過
第11回東北私立高等学校バレーボール選手権予選大会参加
第53回岩手県民体育大会バレーボール競技出場
第11回東北私立高等学校バレーボール選手権大会出場

ラグビー部
第53回市民体育大会ラグビー競技　４位
第53回岩手県高等学校総合体育大会ラグビーフットボール競技出場
第53回岩手県民体育大会ラグビーフットボール競技出場
第81回全国高等学校ラグビーフットボール大会岩手県大会出場

体操部
第53回岩手県高等学校総合体育大会体操競技出場
第53回岩手県民体育大会体操競技　団体５位

柔道部
第53回岩手県高等学校総合体育大会柔道競技盛岡地区予選大会　団体１位
第53回盛岡市民体育大会柔道競技出場
平成13年度盛岡市内高校一般春季10人制柔道大会出場
第53回岩手県高等学校総合体育大会柔道競技　団体ベスト８
個人（60kg ベスト８和田、83kg 級ベスト８遠藤）
平成13年度全日本ジュニア男女柔道体重別選手権大会岩手県選考会出場
第53回岩手県民体育大会柔道競技盛岡地区予選大会出場
第53回岩手県民体育大会柔道競技出場　ベスト16和田（60kg 級）
第34回岩手県高等学校１、２年体重別柔道選手権大会出場

剣道部
第53回岩手県民体育大会剣道競技　団体優勝
第25回北鵬旗争奪剣道大会出場（宮古市民総合体育館）
第33回岩手県高等学校選抜剣道大会出場
第53回岩手県高等学校総合体育大会剣道競技　団体ベスト８
第53回岩手県民体育大会剣道競技出場　次鋒の部３位芳平

卓球部
第53回岩手県高等学校総合体育大会卓球競技盛岡地区予選大会　団体予選通過　シングルス角掛・村上
ダブルス高宮・角掛組　予選通過
第53回岩手県高等学校総合体育大会卓球競技出場
第53回岩手県民体育大会卓球競技盛岡地区予選大会出場
第53回岩手県民体育大会卓球競技出場　ベスト32高宮宜男
岩手水沢インターハイ記念第４回ＭＪオープン卓球大会出場

ハンドボール部
第53回盛岡市民体育大会ハンドボール競技出場
第53回岩手県高等学校総合体育大会ハンドボール競技出場
第53回岩手県民体育大会ハンドボール競技　２回戦進出

山岳部
第53回岩手県高等学校総合体育大会登山競技　男子団体第５位
平成13年度登山専門部基礎講習会山岳マラソン大会　３位近藤裕祐　６位吉田周作　７位山内航
第53回岩手県民体育大会登山競技出場　縦走競技　Ａチーム第２位　Ｂチーム第７位
踏査競技　Ｂチーム第２位　Ａチーム第４位　Ｄチーム第５位　Ｃチーム第９位
総　合　Ａチーム第２位　Ｂチーム第４位
吉田周作・近藤裕祐　東北総体強化選手選出
平成13年度岩手県新人登山大会出場　男子学校対抗の部　第４位　**チーム対抗の部　第３位**

テニス部
第53回岩手県高等学校総合体育大会テニス競技盛岡地区予選（平成13年度盛岡市民体育大会）
男子シングルス準優勝橋伸　第３位赤坂和男・谷地隼人　男子ダブルス第３位赤坂・谷地組
第22回岩手県ジュニアテニス選手権大会
18歳以下男子シングルス準優勝谷地隼人　第３位橋伸・赤坂和男　ダブルス準優勝赤坂・谷地組　第３位橋・佐藤組
16歳以下男子シングルス優勝竹浪康弘　ダブルス準優勝竹浪・石田（北松園中）組
東北高校テニス安比高原大会出場
第21回岩手県Ａ級シングルストーナメント　第３位谷地隼人
第20回岩手県小中学生テニス選手権大会出場
第53回岩手県高等学校総合体育大会テニス競技
団体優勝　男子シングルス　準優勝谷地隼人　第３位橋伸・赤坂和男、ベスト８佐藤友則
男子ダブルス　優勝赤坂・谷地組　第３位橋・佐藤組　ベスト８岡本・浦島組
平成13年度岩手県テニス選手権大会出場
第42回東北高等学校テニス選手権大会
男子団体優勝　男子シングルベスト８谷地　ベスト16赤坂　ベスト22橋
男子ダブルス優勝谷地隼人・赤坂和男組
第53回岩手県民体育大会テニス競技
少年男子シングルス準優勝橋伸　３位赤坂和男　谷地隼人　ベスト16佐藤友則　浦島信之　吉田隆司　竹浪康弘
少年男子ダブルス　優勝赤坂和男・谷地隼人組　３位橋伸・佐藤友則組　ベスト８浦島・竹浪組　高山・吉田組
第８回岩手県秋季ジュニアテニス選手権大会　15歳以下男子シングルス　優勝竹浪康弘
13歳以下男子シングルス　第２位谷地樹人
第18回岩手県高等学校一年生大会テニス選手権大会　男子シングルス　準優勝　布台幼容
男子ダブルス　ベスト８布台・古館組、鳥居・本宮組
平成13年度全日本ジュニアテニス選手権大会　16歳以下男子ダブルス出場　竹浪・石田組
平成13年度全国高等学校総合体育大会出場
第28回東北総合体育大会テニス競技出場
第33回岩手県高等学校新人テニス大会盛岡地区予選出場
平成13年度ＮＨＫ杯テニストーナメント　男子シングルス優勝谷地隼人
第33回岩手県高等学校新人テニス大会　団体優勝
シングルス　優勝　谷地隼人　第３位高山峻也　ベスト８吉田隆司、竹浪康弘
ダブルス　優勝　谷地・竹浪組　第３位　高山・吉田組
第22回東北選抜高等学校テニス選手権大会　団体優勝

サッカー部
第53回岩手県高等学校総合体育大会サッカー競技盛岡地区予選大会出場
第53回岩手県民体育大会サッカー競技盛岡地区予選出場

水泳部
平成13年度岩手県選手権大会　100m 背泳５位、50m 背泳５位江刺家洋一
第53回岩手県高等学校総合体育大会水泳競技
100m 背泳２位200m 背泳３位　江刺家洋一　200m 個人メドレー６位鈴木暢　800m メドレーリレー８位
第56回東北水泳大会出場
平成13年度岩手県民体育大会水泳競技　少年男子Ｂ200m 平泳４位　加藤泰久
少年男子Ａ200m 背泳５位　江刺家洋一
少年男子Ｂメドレーリレー　４位
第41回盛岡市民水泳記録会参加
平成13年度岩手県高等学校総合体育大会水泳競技新人大会　200m 背泳第３位、100m 背泳第５位　**江刺家洋一**
200m 平泳第５位　鈴木暢

スキー部
全日本スキー連盟Ｂ級公認蔵王ライザアルペンスキー大会出場　楢山ＧＳＬ63位　ＳＬ46位・68位
小原ＳＬ65位・90位
岩手県中学校八幡平のＳＬポイントレース　高橋46位・13位　田口43位・41位
全日本スキー連盟Ｂ級公認秋田八幡平アルペンスキー大会　楢山73位　小原99位・72位
月山ＧＳスキー競技会　第２位楢山　第３位渡邊　第６位小原

硬式野球部
全国高等学校野球選手権大会出場

将棋部
第23回岩手県高等学校将棋大会　団体準優勝　個人準優勝佐藤圭一　第３位高橋春樹　第４位北島旬
第５位千田雅人、阿部秀典、白崎将且、田山英亨
第14回全国高等学校将棋竜王戦岩手県選手権大会　第２位高橋春樹　第３位千田雅人　ベスト８北島旬
第22回全国中学生選抜将棋選手権大会出場
第11回岩手県高等学校将棋級別大会　Ａ級第３位　高橋春樹
第20回岩手県高等学校文化連盟将棋新人大会
個人戦Ａ級　第３位　田山英亨
団体戦　優勝Ｂチーム　第２位Ａチーム

映画部
第48回ＮＨＫ杯全国高等学校放送コンテスト岩手県大会及び第24回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会
創作テレビドラマ部門　準優勝　番組部門第４位
第48回ＮＨＫ杯全国高等学校コンテスト全国大会出場　創作テレビドラマ部門製作奨励賞受賞

吹奏楽部
平成13年度全日本吹奏楽コンクール岩手県大会盛岡地区予選大会出場（高等学校Ａクラスの部）
定期演奏会開催（市民文化ホール）
平成13年度全国高等学校総合文化祭マーチングバンド部門出場（於福岡市）

肉のデパート
丸　岩
盛岡市上田一丁目７の11　ＴＥＬ(624)6565

盛岡石油株式会社
本社／盛岡市材木町４-31　豊岡ビル３Ｆ☎019-622-6181
サービスステーション　新太田橋　太田　中央通　南大橋Ｒ396

懐石料理とわんこそばの店
初（はつこま）駒
盛岡市八幡町10-21　電話　019-651-7184
（盛岡八幡宮前）

石桜バレーボール会の活動

記録編纂の背景と意義

本校のバレーボール部（排球部）は、昭和13年の創部で、県下の高校では一番古い歴史がある。同年に開催された第1回県下男子中等学校排球大会は岩手師範（現岩大教育学部）と岩手中学校2校のみでの決勝戦の事実がある。今年で創部63年の永きにわたる部活動で県高総体優勝2回・同準優勝2回、県民体準優勝4回などの年輪を刻んでいるが、その間多くの選手を輩出。今次OBの交流と現役の支援を目的とした石桜バレーボール会（以下OB会）設立の経過は、以下の通りである。

戦後の躍進土台を築いた諸先輩のバレーボール談義に華咲く有志会があり、懇談会がもたれていた。平成9年8月の懇談会で、OBの抜粋名簿と対面したのが発端だった。

バレーボールが戦前・戦中の胎動期、戦後の普及・発展期に夢とロマンを追い、崇高な学校の名誉をかけて築いた諸氏の貴重な記録散逸の危機感となり、創部からの記録を集約する機会ととらえ、同時に後世に記録を伝えることの意義と現役の奮起を促すことを痛感した。

OB会設立の軌道と編集

平成9年11月と同10年2月にOB懇談会を開催、OB名簿と戦績概要を検証した。今後の課題としてOB組織を設立し、組織の事業として記録誌編集の意見が一致、OB会設立が方向づけられた。平成10年4月から石桜バレーボール会（仮称）の設立準備会開催、同設立発起人会が開催され、設立趣意書・規約・役員選任・年会費及び事業費の徴収と記録誌編集は、平成10年7月11日開催の設立総会で出席者全員の賛同を得て決定した。以降OB会の運営や総会開催のほか、平成12年の発刊をめざし、創部60周年記念の記録誌として編集することになった。

幸いにもOBであり、岩高教師だった高橋精四郎氏が所有している「石桜誌」の存在から資料の提供を頂き、壮大な記録と試合内容を把握した。写真提供・寄稿・座談会や寄付金拠出・個人広告などで、多くのOBから協力があり、深謝している。

毎年の総会と活動

OB会の総会は親睦・交流を第一義に、現役の競技力向上と健全な部活動に寄与することを目的に、毎年7月に開催される。構成員はOBをもって構成、自動的に会員となり会費を徴収。毎年の総会に学校長や同窓会長が出席、激励や学校の近況報告がある。現役の部活動として試合結果報告や、OB会の活動報告・会費決算のほか平成12年度の総会では、丸3年かけて編集した創部60周年記念記録誌「栄冠に近道なし」を発刊・祝賀した。

出席状況は30名～50名で、遠くは東京圏からの出席もあり、総会終了後の写真撮影や懇親会では、同志的仲間が久々の交流・情報交換で盛り上がり、お互いの近況確認など有意義で、最後は校歌斉唱で幕となった。

特筆として現役に対し、OB会から専任コーチを派遣、レベルアップに努めているほか、現在約380名が総会員数であるが、慶弔規定により物故の訃報に接した場合、生花・弔電等で弔意を表している。

今後の提言と理念発揮

現役チームの課題はチームリーダーの育成のほか、学校方針に沿った推薦入学などで強化を図り、県大会ベスト8・ベスト4などの戦績確保が肝要と思う。現役の上位進出により、自然発生的にOBが学校に集い、隆盛となったことは過去が物語っている。岩高生の誰しものスピリットは、岩をも割る桜樹である。学生の本分として「心・身を鍛える」ことを肝に命じ、基本に忠実であることの認識が重要である。かつての栄光を切に望むもので「上善は水の如し」の語録を贈る。

事務局長　斉藤　裕夫（新11回生）

やる気にさせた大野元先生

――高橋克彦氏語る――

読売新聞に「教育新世紀」という欄があるALBUM私の先生と副題があるこのコラムに、今年9月24日作家の高橋克彦氏（新19回）が登場した。

◆　◆

岩手高校2年の時の担任大野元先生のことである。

演劇部で芝居に熱中し、県の高校演劇連盟の連盟長になって、雨が降れば学校を休み、授業をサボっては名曲喫茶に入り浸っていた為、成績が急激に落ちた。

大学生の従兄の最期のヨーロッパ旅行に同行を狙って父に願い出た。担任の了解をとって来いとのことに大野先生に話すと、意外にも「学校にいてもお前の才能は生かされない。行った方がいい」とのこと。

一年後に帰国、復学したが、大野先生が気にかけてくれる様子がわかり、それに応えるべく猛烈に勉強した想い出がある。おかげで自分を立て直すことができた、と語っていた。

新発想の物体宙吊り

岩大助教授も評価

本校物理部は、小さな穴から空気を噴射して、物体をつり下げる実験に11月1日成功した。

仕組は気圧差。穴と金属板の間から外へ逃げる空気の速い流れが、そのすき間の気圧を下げる。すると金属板を上に押しつける力が生まれるというもの。

「やがては物や人間の運搬に応用できるのでは」と同部員の夢は広がる。

岩大教育学部の八木一正助教授は「発想自体が意外で大変驚いている。身近なものを使った原理応用でまだまだ勝負できることを教えてくれる」と話す。

石桜文化祭で

講師
プロレスラー
ザ・グレート サスケ氏
恒例の講演会開催

去る9月1日岩高文化祭の中で今回はプロレスラーのグレートサスケ氏を招いて講演会を行った。

これまでの講師とは違って世代が近いせいもあって、生徒は独特の親近感の中で、体験からの実話に聞きほれ、真剣で活発な質疑応答で締めくくられた。

サスケ氏の講演の概要は次の通りであった。

◆　◆

講演の要旨を拾うと、自分がプロレスラーになりたいとめざしたのは中学2年の頃。アントニオ猪木の新日本プロレスに入りたくて14の運動種目はパスしたが身長が足りなくて2度不合格。しかし志が固ければ環境は開けるもので軽量級部門のユニバーサルプロレスができて、念願が達成した。

メキシコにも行って帰国、好調に思われたが試合が月2回しかなくて食えず、6人の若い連中と盛岡で旗上げし、今は全国を舞台に140試合をこなし、村おこし、町おこしにも役立っている。得意の空中殺法をかわされて死線をさまよったとき目に浮かんだのは家族、親孝行の大切さまでを説いた。

郵便友の会全国大会で岩手高校グループ地域の清掃活動で受彰

今年8月全国各地から郵便友の会会員の代表200名が東北、国立花山少年自然の家に集い、第53回全国大会が開催された。

岩手高校3年の笹森基宏君はこの会の連合委員長であり、大会宣言を誓し、また全国の小、中、高校の友の会とともに、ボランティア活動としての地域清掃活動で表彰された。

生徒募集をテーマに去る11月7日岩手日報紙上に以下の記事を広告として掲載しました。

より遠くを見据えた確実な授業内容　EDUCATION-1

大学受験に対応したカリキュラムで行われ、2年生からは希望に応じたコースに進み、得意な分野で個性を磨きます。加えて生徒一人ひとりが希望する進路と多様化する大学入試にあわせ選択授業を充実させています。

■過去三年間の卒業生の主な合格校

第1期生（平成11年3月卒）			第2期生（平成12年3月卒）			第3期生（平成13年3月卒）		
特進	選抜	文理	特進	選抜	文理	特進	選抜	文理
北海道大	弘前大	岩手大	福島大	弘前大	鹿屋体育大*	弘前大	岩手大	鹿屋体育大*
岩手大	岩手大	横浜国立大	茨城大	岩手大*		岩手大		
群馬大	電通大			秋田大		福島大	青森公立大	岩手県立大
宇都宮大		岩手県立大	岩手県立大	筑波大*			岩手県立大	
	岩手県立大					都留文科大		
青森公立大	秋田県立大							
岩手県立大								
高崎経済大*								
東京都立大								
岩手医大	岩手医大	岩手医大	岩手医大	岩手医大*	八戸工大*	法政大	岩手医大	岩手医大
東北学院大	東北学院大	盛岡大	青山学院大	東北学院大*	盛岡大	東京工科大	東北学院大	盛岡大
工学院大*	東北工大	東北学院大	学習院大	東北薬科大*	東北学院大	神奈川大	東北工大	東北学院大
中央大	武蔵大	亜細亜大	國學院大	日本歯科大	青山学院大	帝京大	石巻専修大	東北工大
東京理科大	國學院大	國學院大	駒沢大	大東文化大	国士舘大	城西大	城西大	石巻専修大
明治大	同志社大*	駒沢大	東京理科大	東洋大	駒沢大	専修大	専修大	北里大
同志社大		芝浦工大	日大	日大	芝浦工大	帝京大	帝京大	拓殖大
立命館大		高千穂商大*	法政大	神奈川大	専修大	二松学舎大	二松学舎大	東京経済大
		中央大	明治大	同志社大	東京経済大	日大	日大	東京農大*
		東京理科大	同志社大	立命館大	東京農大*			日大
		東洋大			東京理科大			神奈川大
		日大			東洋大			
		神奈川大			日大*			
		同志社大			日本歯科大			
●国公立合格者　19名			●国公立合格者　13名			●国公立合格者　21名		
●私立大合格者　115名			●私立大合格者　155名			●私立大合格者　145名		

※本校は特定のコースの成果を上げるために、外のコースを犠牲にしません。だからこそ、各コースから国公立大学、有名私立大学をはじめ多数の大学に合格者を出しているのです。
※上記中、＊印の合格者には岩手中学校出身者が含まれています。本校は中高一貫教育（併設型）を推進しています。男子小学生をお持ちの保護者の皆様は、この際是非お見知り置き下さい。

平成14年度　岩手中・高等学校生徒募集要項

		高等学校				中学校
試験の種類		特別進学コース	クラブ推薦	一般専願	一般併願	―
募集定員		30名	若干名	250名（特進、推薦含む）		20名
出願期間		1月15日（火）～1月16日（水）	1月15日（火）～1月16日（水）	1月23日（水）～1月28日（月）	1月23日（水）～1月28日（月）	1月15日（火）～1月17日（木）
試験期日		1月18日（金）	1月18日（金）	2月1日（金）	2月1日（金）	1月18日（金）
合格発表		1月22日（火）	1月22日（火）	2月7日（木）	2月7日（木）	1月22日（火）
入学手続締切		1月28日（月）	1月28日（月）	2月15日（金）	2月15日（金）	1月30日（水）
受験料		10,000円		10,000円		1,000円
入学時納付金	入学金	110,000円		110,000円		／
	施設設備充実費	80,000円		80,000円		／
	石桜会入会金	1,000円		1,000円		1,000円
	計	191,000円		191,000円		1,000円
毎月納付金	授業料	18,000円		18,000円		／
	施設費	7,000円		7,000円		1,000円
	維持費	7,000円		7,000円		／
	石桜会費	1,000円		1,000円		1,000円
	教育後援会費	2,000円		2,000円		2,000円
	PTA会費	200円		200円		200円
	計	35,200円		35,200円		4,200円
試験科目		国・数・英（各60分）	面接	国・社・数・理・英（各40分）面接	国・社・数・理・英（各40分）	国語、算数（各40分）面接
選抜方法		調査書、学力試験の総合判定	調査書、推薦書、面接の総合判定	調査書、学力試験、面接の総合判定	調査書、学力試験の総合判定	調査書、学力試験、面接の総合判定

御慶弔引菓子
金山からめ餅本舗
創業安政元年
玉桜堂
020-0861　盛岡市仙北1丁目14-2
TEL636-1143
FAX636-1142

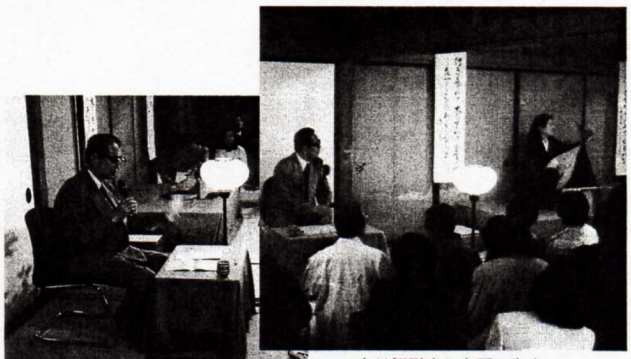
スタジオ撮影・各種スピード写真・各種カメラ
カラー・D.P.E・記念出張撮影
フォトMORIOKA
池ノ谷　忠　正
材木町信用金庫向　TEL(622)7457

割烹
「こう弥」
盛岡市菜園2の8の36
TEL(623)2622

「平家物語画譜展」を開催

元母校教師　水原一（はじめ）先生

平家琵琶演奏の解説も



左は解説する水原一先生
上の右は奏者の新井泰子さん

昭和20年代に岩手中学や盛岡中学で教鞭をとった水原一先生（東京都練馬区在住）は駒沢大学教授を退職の後、専門の平家物語研究の傍ら同物語を題材に青韻と号して歴史画も画き続けているが、昨年の銀座の画廊での個展に続いて、5月28日から6月3日まで盛岡市清水町の南昌荘で50点近い作品の個展を行った。

水原一先生は「中世文学を専攻したが、戦後の岩手美術研究所で深沢省三、紅子夫妻のご指導は忘れられない」と語った。

また6月2日には、平家琵琶伝承者の新井泰子さん（所沢市在住）による「小督」「忠度」「宇治川の先陣」の演奏も行われ、水原一先生による中世叙事詩の世界についての解説に聴衆は魅了された。

今回の催しは同氏の実弟で元盛岡二高教諭の水原正先生や教え子の西在家寛（旧18回）元校長や同期の山口徳治郎、新10回の中村光紀プラザおでって盛岡館長の肝入りで行われた。

OB短信

剣道部OB会

「剣道部OB会」設立の経緯は、故吉田金治先輩（旧12回生）を囲む会が母体となり、発展的に設立されたもので、現在の会員数は150名を数えておりますが、実際に総会等に出席する会員は20名ぐらいです。

OB会の主な行事として、例年行っていることは、後輩の夏期合宿時にあわせて「OB会定時総会」を開催し、合同稽古を行い汗を流しながら体で教えるとともに、夕食をともに語らい先輩と後輩の絆を深め親睦を図っております。残念ながら今年は実施できず、「OB会定時総会」開催は11月21日となっております。

次に、会員の活動等について紹介します。誠に残念ながら、剣道界の重鎮で居合道第一人者の三浦正雄範士八段（旧6回生）は昨年12月1日に他界されましたが、岩手県剣道連盟では、宮静孝範士七段（旧8回生）が監事、谷藤誠範士八段（旧9回生）が副会長兼事務局長の重職を担っております。高橋隆一教士七段（新20回生）も常任理事、中村寿夫教士七段（新22回生）は理事・居合道代表指導者として、大塚則夫（新21回生）も六段に合格、吉田久司六段（新13回生）をはじめ数多くの会員が、盛岡・北上・矢巾・西根・滝沢地区等で少年スポーツ団の指導や現役選手として活躍しております。

剣道は年齢に関係なく相手と対等に稽古が出来ます。宮先輩、谷藤先輩は七〇歳代ですが元気で先に立っておられ、我々後輩はまだまだ足元にも及ばず、剣道の奥の深さと修行不足を実感しております。

現在の剣道部の状況は、今年は盛岡地区大会で優勝を成し遂げたが、高総体、新人戦はベスト8であり、あと一歩で入賞を逃しております。しかし、他校と違い剣道教員がいないのに好成績を上げており、熱心に指導されている顧問の先生や、他校出身ながら指導をお願いしている警察の海端先生、高平先生に感謝申し上げます。ただ、一年生部員が少ないことが懸念されるところです。

おわりに、わが「剣道部」は剣道最高である範士を三人も輩出している名門校であり、この伝統の灯を消さず隆盛を図ることがOB会の使命と役割と心得、会員が自己研鑽に努めるとともに、ひとりでも多くが母校に顔を出し、後輩の指導育成に尽力するOB会活動を展開する所存です。

高橋　隆一（新20回）

ソフトテニス部OB会

平成10年8月11日、例年通り村上照五郎先生ご夫妻をお迎えし、20数名のOB参加のもと、ソフトテニス部OB会を本町『きのえね』にて開催しました。

村上先生ご夫妻の人柄にひき寄せられ集まったOB諸氏は、にぎやかに『語り合い』を始め、酒が入るほど盛り上がり、昔、今、将来のこと、いろいろな話題のもと、あちこちで楽しい会話が繰りひろげられました。

皆、酒とともに、『語り合い』が心の中を、はじけるように『こおどり』していろしいように思われる。

さて、会の締めくくりは、一同肩を組み、声を張り上げての校歌斉唱。次回の再会を約し、拍手で散会。有志は、社長心遣いの二次会場へ。

久びさの充実感、満足感は、校歌・応援歌集のCDの購入数35が示すとおりである。今回、やむを得ず参加しかねた仲間からの購入希望も相次いでいる。

さて次回は、卒業50周年にあたる明後年、平成15年（二〇〇三）の開催を予定している。あたかもこの年は、若いつもりのわれわれも、ついに「人生七十古来稀なり」（杜甫）の古希を迎える。一層の盛会が予想され、今から楽しみである。

ところで、最近の新聞報道によれば、元気なテニス部を始め、物理部、化学部など後輩諸君の活躍が目覚ましい。今アテルイの高橋克彦氏の変わらぬご活躍もすばらしいが、とりわけ後輩諸氏、諸君の活躍ほど嬉しいものはない。心からの敬意と祝意を表し、一層のご活躍、ご健闘を期待したい。

同窓会学年理事
村上　昇

支部だより

▼東京石桜同窓会

10月6日午後6時30分より東京港区の青山ダイヤモンドホールで、学校から菊地治雄校長、佐藤正俊先生、藤原隆史先生、同窓会から村上照五郎副会長が出席し、約60名の参加で盛大に行われました。

第一部では新23回生の東京工科大学工学部電子工学科教授三田地成幸氏の講演が行われ、続く第二部では総会と懇親会が行われました。新会員の紹介や、旧制卒業生の方々の紹介など和やかなうちに、校歌斉唱・万歳三唱で幕を閉じました。

▼仙台石桜同窓会

8月11日午後6時から第5回仙台石桜同窓会総会が仙台市内「美点花」で行われました。同窓会を代表して下河原善嗣郎会長が出席し、足澤至元先生もご来賓として出席され、約20名の参加で盛大に行われました。

▼雫石石桜会

3月22日に雫石石桜会総会が「雫石中央公民館」で行われました。学校を代表して米田先生が、同窓会を代表して村上照五郎副会長が出席し、約30名が参加し盛大に盛り上がった会となりました。

▼岩手町石桜会

12月1日午後6時30分から第12回定期総会が野口町「奈良屋」で行われ、学校側からは菊地校長が出席し、約20名が参加しました。

▼日大石桜会

11月8日に日大石桜会総会が盛岡市内「サザエさん」で行われました。学校からは菊地校長が、同窓会からは村上照五郎会長と村井紀之副会長が出席し、約20名が集まりました。

＊OB会の総会や各回生の集まり等がありましたら岩手高校内、同窓会事務局までご連絡ください。

新19回生、一球会ゴルフコンペ、グアムで盛り上がる！

新19回生は年に1回の同窓会、年に2回のペースでゴルフコンペを開催している。昨年は20世紀最後の年を記念し、11月1日から4泊5日のグアムでのゴルフツアーを行った。珍プレー続出でにぎやかなコンペとなり、気持ちは一気に学生時代に戻り楽しい旅行だった。

これからも4年に1回は海外でのゴルフコンペをと誓いあった。

前列左から中村一、吉田正夫、八重樫仁
後列左からゲスト篠栄一（哲人君の友人）、新屋明生、伊藤吉彌、角田克保、吉田哲人

●新17回生同期会

8月12日に盛岡市内「ホテルエース」で平成7年以来6年ぶり、45名が参加。学校から、遠藤貴元校長、現同窓会長村上照五郎先生、坂本悟郎先生が出席した。

●新2回生同期会

12月5日新2回生の学年会が繋温泉「ホテル愛真館」で行われ、ご来賓として吉田長作先生と足澤至元先生にご出席頂き、同窓会からは村上照五郎会長が出席し、28名の参加により盛大に行われました。

●藤原　一郎（新23回）

ぜひ、村上先生のお人柄で、石桜同窓会もソフトテニス部OB会も、ますます発展させていただきたい、と心より思うとともに、OB皆様方のそれぞれの参加が、同窓会もOB会も必ず育てていくものと信じています。

桜球会

4月14日（土）
・平成13年度桜球会総会（初駒　八幡店）　中屋敷美喜男事務局長（新23回生）監督就任に伴い、明戸均（新21回生）事務局長就任。24名参加。学校より菊地校長・米田野球部長参加。
6月24日（日）
・桜球会親睦ゴルフ（八幡平カントリークラブ）
優勝者　小田三司（新22回生）、12名参加
中屋敷美喜男（新23回）

■事務局より

本年夏頃多くの同窓生に岩手高校の卒業生名簿を作成しますという往復はがきが届いたようですが、昨年2000年版を作成したばかりで新名簿作成は4～5年後となります。その頃は何件かの問い合わせがあり、そのような予定はないというご返事をいたしましたが、中には往復はがきを出された方もあるようです。気がついて取り消し通知を出した方もあるようです。新名簿につきましては学校の同窓会事務局か、印刷業者は卒業生のいる山口北州印刷（盛岡）ですので、そのどちらかしか案内の発送はありませんので、お気をつけ下さい。

"花の二八（ニッパチ）"大観に集う

――新5・岩中22回生同期会――

10月28日（日）、昭和28年（一九五三）年卒の同期会を開いた。

われわれは、オリンピックに因んで4年ごとに、つなぎ温泉「ホテル大観」に集まることとしている。（因みに、佐藤義正社長は、同期の桜。

4年振りの会合であり、又同じく同期の下河原善嗣郎同窓会長の退任慰労の趣旨も加わり、35名が集う盛会となった。（現存者91名）

会は、まず元気の証ともなる記念写真を撮り、続いて不運にも他界した仲間を追悼する。それにしても、毎回数名の同期の桜が散っていくのはどうしたことか。侘しい限りである。

下河原代表世話人の挨拶、同窓会学年理事報告、十世小泉仁佐衛門（御釜屋）の会務報告と続く。東京から参じた金沢伸行君「いい奴から先に逝くようだ。生き残りの悪い奴等に乾杯！」と発声。拍手喝采の中、酒宴に入る。

宴（うたげ）は、喉が潤いほろ酔うほどに話が弾む。人生疲労、体調不良を嘆くなどぼっとしない近況報告から、次第に元気も出、若返る。ついには、50年前の青春時代が蘇り、鼻息も荒くなる。「百名足らずの俺たちだったが、よく頑張ったな。」と、かつて汗して手にした栄光の数々をこもごも語り合い、いま改めて祝杯を重ね合う。

硬式野球、ラグビー、水泳、体操、バレー、バスケット、テニスなどで優勝し、卓球、ハンドボールなども上位を占めた。陸上も、100、200を始め、400、800、リレーなどの快走ぶり、見事な勝ちっぷりが目に残る。アイスホッケーは、国体三位の活躍だった。ともかく、全ての分野で、見事な戦いぶりであったことは間違いない。（詳しくは、石桜50年史をご覧あれ。）

いま、高齢者のケアに関し、回想法の効用が注目されているが、折にふれ若かりし頃のよき想い出を回想することは、精神衛生上よ

大小御宴会・御商談等に
御利用下さい。
御食事処
きのえね支店
盛岡市本町通1丁目17-6
電話 622-9346

特定建設業
Z　株式会社　下河原組
代表取締役会長　下河原善嗣郎（新5回生）
代表取締役社長　下河原　大希（新36回生）
〒020-0403
岩手県盛岡市乙部4地割6番地1
TEL 696-2255㈹
FAX 696-2360

メンズファッション＆スクールウェア
㈱　佐藤被服
本　社　盛岡市肴町　TEL ㈹(624)3797
営業所　紫波郡矢巾町流通センター
TEL ㈹(637)2661